

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-----------|----|--------|-----------|
| ○事業所名 | アソベル久能 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 1月 5日 | | ～ | R8年 2月 5日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 24 | (回答者数) | 16 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 1月 5日 | | ～ | R8年 2月 5日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 2月5日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 幅広い学年、学校の児童と交流する機会がある | 現在小学1年生～高校3年生までの児童が所属している。集団活動を通して、様々な学校の児童や異年齢の児童とのよりよい関わり方を学ぶことができるよう支援している。 | 日々の自然な関わりの中での学びだけでなく、学年や特性に合わせてリーダーなどの役割を任せる活動を増やしていく。 |
| 2 | 活動内容の充実を図っている | これまでの活動内容にとらわれず、レクリエーションや外出先の幅を広げ、子どもたちの経験が増えるよう日々職員間で話し合いを行いながら活動内容を組み立てている。 | 児童の特性等の理解を深め、外出先の情報収集や支援方法を工夫することでさらに活動の幅を広げていく。 |

| | | | |
|---|-----------------|---|--|
| 3 | 自立を重視した支援を行っている | 日常の動作や体験活動などを通じ、子どもたちが自分の力でできることを増やし将来に向けて自立ができるよう、必要に応じた見守りや最小限の手助け、環境の整備などを行っている。 | 子どもたちの成長段階に応じてどのような支援が適切かを職員間で話し合い、よりよい支援に繋げていく。 |
|---|-----------------|---|--|

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------------|--|
| 1 | 曜日によりレクリエーションの時間に差がある | 下校時刻の差などにより、レクリエーションを行える時間が短い日がある。 | 短時間でも楽しめるレクリエーションを考えたり、スケジュールの工夫などを行い、常に充実した活動ができるよう努めていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |